日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	インテリアデザイン実習3C	
科目基礎情報					
開設学科	インテリアデザイン科	コース名	全コース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位			授業形態	実習
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。				
担当教員情報					
担当教員	林久喜	実務経験の有無・職種	有・インテリアデザイナー		
学習目的					
<p>三面図の描き方を習得し、寸法のスケール感覚を身につけ、今後の実践へ向けて作図業務のスピードを向上させる。現代ではほとんどCADでの仕事メインではあるものの、現場に出向いた際や、図面がない状態での敷地調査などあらゆる時にスケール感覚は必要になる為、感覚をより鋭敏にする。</p>					
到達目標					
<p>既製家具の図面化ができるようになる。フィールドサーベイを主軸に実際の家具のスケール感、部材のサイズなど調査を行い、1/5スケールの家具模型を製作することができるようになる。精巧な模型製作を習得しよりリアルな検討を行えるようにする。</p>					
教育方法等					
授業概要	いす、照明器具など家具制作を題材とした実習の科目である。この授業では個人ワークやグループワークを取り入れる。				
注意点	遅刻、欠席をすると内容についていけない為、理由のない遅刻や欠席は認めない。やむを得ず体調不良等で欠席した場合は、翌日に自動的に資料を教員室まで取りに来ること。授業中メモを取り、わからないことは、質問すること。課題は締切厳守。全ての課題を提出で合格とする。授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることが出来ない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	課題技術	40%	課題の表現技術を総合的に評価する		
	課題内容	40%	課題のコンセプト・アイデア・デザインを総合的に評価する		
	プレゼンテーション	10%	課題の発表技術、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	ガイダンス/既製家具の三面図 作図①	授業の内容と今後どのように進行するのか説明。家具の実測と製図ができるようになる			
2回	既製家具の三面図 作図②	家具の実測と製図ができるようになる			
3回	既製家具の三面図 作図③ / 提出	プレゼンテーションで人前で話すことに抵抗を少しだけ感じなくなるようになる			
4回	オリジナル家具デザイン考案①	デザインの創出方法に幅が出るようになる			
5回	オリジナル家具デザイン考案②	デザインの創出方法に幅が出るようになる			
6回	1/5 スケール模型製作①	精巧な模型を製作できるようになり、検討のリアリティが増しディテールの作り込みが出来る			
7回	1/5 スケール模型製作②	精巧な模型を製作できるようになり、検討のリアリティが増しディテールの作り込みが出来る			
8回	1/5 スケール模型製作③	精巧な模型を製作できるようになり、検討のリアリティが増しディテールの作り込みが出来る			
9回	プレゼンテーション	他人に自分のアイデアが伝わるようになる			
10回	オリジナル照明デザイン考案①	デザインの創出方法に幅が出るようになる			
11回	オリジナル照明デザイン考案②	デザインの創出方法に幅が出るようになる			
12回	照明制作①	精巧な模型を製作できるようになり、検討のリアリティが増しディテールの作り込みが出来る			
13回	照明制作②	精巧な模型を製作できるようになり、検討のリアリティが増しディテールの作り込みが出来る			
14回	照明制作③	精巧な模型を製作できるようになり、検討のリアリティが増しディテールの作り込みが出来る			
15回	プレゼンテーション	他人に自分のアイデアが伝わるようになる			